

動かそう、戸田

無所属 **42歳**

すがわら文仁



【略歴】昭和50年7月30日生まれ(42歳) 市立美谷本小学校・美笹中学校卒 県立伊奈学園総合高校卒 日本体育大学卒(教員免許) 明治大学大学院修了(公共政策学修士) 元社会体育会社代表 「地盤・看板・カバン」なしで政治に挑戦 平成17年~23年戸田市議会議員(2期・6年) 平成23年~埼玉県議会議員(2期・7年目) 東京経営短期大学客員教授 青年地方議員の会会長 埼玉県体操協会副会長 埼玉坂本龍馬会副会長 防災士

【趣味】読書・史跡巡り・B級グルメ探し・道満ジョギング 【特技】バク転・のび太並みの早寝 【座右の銘】上杉鷹山翁の「なせば成る、なさねば成らぬ、何事も」

【夢】努力した者が報われる社会を実現すること 【家族】父・母・妻・娘・息子・愛犬(3匹) 【自宅】戸田市美女木8-21-6

発行：埼玉県議会議員 菅原文仁事務所
〒335-0023 戸田市本町1-21-8-1F
TEL/FAX 048-432-3585
HP sugawarafumihito.com
Email mail@sugawarafumihito.com

記者会見にて出馬表明!



▲記者クラブにて、出馬表明の記者会見(2017/12/18)



▲戸田市政経懇話会設立総会、出馬要請(2017/12/16)
100社を超える市内経営者が戸田市政経懇話会を設立。同会から市長選挙への出馬要請を賜る。



戸田市長選に菅原氏出馬表明

来月3月18日告示、25日投票の戸田市長選に、地元選出の菅原文仁氏(42)が18日、無所属で立候補すると表明した。

菅原氏は同日、記者会見を開き「住民が戸田市をもっと好きになり、住み続けたい」と語り、公約として、子どもの医療費を高校卒業まで無償化することや、企業誘致による経済の活性化などを挙げた。現市政について、教育や子育てに予算を振りかけた点などを評価しつつも、「経済政策や待機児童対策などで中長期的な視点が欠けている」と指摘した。

菅原氏はスポーツ指導会社役員や市議を経て、2011年4月から県議を務めている。市長選では、前北本市長を務めた石津賢治氏(53)が立候補の意向を固めている。

菅原県議が出馬を表明

来月3月の戸田市長選に、任期満了に伴い、来月3月18日に告示される戸田市長選に、県議の菅原文仁氏(42)が無所属で出馬する意向を18日表明した。

現職の神保国男氏(76)は引退する意向を明らかにしている。川口市内で会見した菅原氏は「(現市長の)5期20年の流れを継承するのではなく、良いものを残しつつ、改善すべき」とは大胆に見直す不退転の覚悟で市長選挙に臨む」と抱負を語った。

同市長選への正式な出馬表明は初めて。近く同市の元副市長で北本市長を務めた石津賢治氏(53)が出馬表明する見込み。

菅原氏は伊奈学園高、日本大を卒業し、2005年に戸田市議に初当選。11年に県議に初当選し、現在2期目。

菅原氏は、神保氏の市政について「(川口市などの)4市合併を阻止した功績を評価し、この流れは変えない。教育・子育てに力を入れたことも加速したい」と話した。(岸鉄夫)

▲読売新聞(2017/12/19) ▲埼玉新聞(2017/12/19)
朝日新聞、毎日新聞、東京新聞、産経新聞、計6社に掲載。

戸田市政管理委員会発表
戸田市長選挙
2018年
投票日 **3月25日**

ご挨拶

新年おめでとうございます。日頃より、私の活動にご理解を賜り、誠にありがとうございます。

さて私、菅原文仁は戸田市政に挑戦する決意を固め、この度12月18日(月)の記者会見にて正式に表明しました。

私は戸田に育ち、市内で働き、29歳から戸田市議会議員として6年間、そして埼玉県議会議員として7年間、戸田のまちづくりに携わってきました。

移り変わる街の景色と自分の成長が重なるように、戸田の発展をこの目で見て、市政と県政で成果を積みながら市民の皆様の声を聞き、たくさんの喜怒哀楽を全身で受け止め、その実現のために全力を尽くしてまいりました。

そして、地元への熱い情熱や冷静な判断力、公に対する使命感といった政治の根幹を地域の人々との出会いや経験によって鍛えることができました。

このたび私は、地元の戸田に恩返しをしたいという故郷を想う気持ちと、出馬要請を賜った皆様からのご期待にお応えしたいという使命感、そしてなにより、自分が胸に抱き続けた理想の“戸田”を市民の皆様と築き上げ、輝かしいものとするため、強い覚悟と不退転の決意をもって、戸田市政に挑戦します。

今こそ、街の先頭に立たせて頂き、大好きな戸田をみんながもっと好きになれるよう、戸田市政の新しい流れをつくります。これまでの市政の良いものはしっかり活かし、改善すべきことは着実に見直すことで、戸田は必ずや「住み続けたい誇れる街」になると確信しています。

皆様の声を力に変えて、戸田を希望と安心、そして活力にあふれた新しい未来へと動かしてまいります。

本年が皆様にとって素晴らしい年となるよう心からご祈念申し上げます。

平成30年 元旦 菅原文仁

基本姿勢



顔が見える市長

「市民の目線に立った政治」を貫くために、政策決定は対話を重視して進め、市民が気兼ねなく話せる市長を目指します。

これまで1000日以上続けてきた駅頭活動をこれからも必ず続けます。

しがらみのない市長

「市民が納得のいく政治」を貫くために、クリーンでオープンな政治に徹し、情報公開と説明責任を果たします。

これまで通り党派を超えた立場に立ち、市民が主役の市長を目指します。

汗をながす市長

「市民の幸せを守る政治」を貫くために、職員の皆さん、市民の皆さんと一緒に汗をかき、打てば響く市長を目指します。

現場第一主義で、どんなに難しい課題も、不屈の闘志で決してあきらめません。

みんなで作る

戸田がもっと好きになる

3×3=9

つの挑戦

新しい戸田を、安心と活力あふれる街へと成長させる菅原文仁の9つの挑戦。今後、市民の皆さんとの対話によって、さらに市民の幸せにつながるような政策へと練り上げ、進化させていきたいと思ひます。皆さんからの率直なご意見をお待ちしております。

つくる

「未来への投資」で 活力をつくる

未来を創る分野への積極的な投資で、市政を大きく前に動かします。

まもる

「安心の暮らし」を 全力でまもる

市民のいのちと健康を守り抜き、強くしてしなやかな地域をつくりまします。

つなぐ

「人・自然・街」を 共感でつなぐ

持続可能な街のため、住みよさや豊かさを皆でつくる社会を目指します。

教育日本一

をつくる



- ▷ 乳幼保小中一貫教育による「戸田型15年教育」で切れ目のない教育システムを構築
- ▷ 21世紀型の学力の育成を支える「教育政策シンクタンク」設置による教育改革の推進
- ▷ 子供の発達に応じた「インクルーシブ教育システム」による教育の基礎的環境を整備

子育ての安心

をつくる



- ▷ 「第3子以降の幼稚園・保育所無償化（所得制限なし）」による子育て世帯の支援
- ▷ 「待機児童ゼロ」を目指して保育所増設や保育士増員による異次元の待機児童対策を推進
- ▷ 「学童保育の増設」と「放課後の学校や公民館等の開放」による子供の居場所の拡大

経済の好循環

をつくる



- ▷ 「戸田市版ウーマノミクス」による多様な働き方実践企業への支援や女性雇用の充実
- ▷ 「地元企業の発注や購入の優先的推進」による地場産業の安定経営と雇用拡大を推進
- ▷ 「戸田PR大使の任命」や「ふるさと祭りの市役所開催」など市民の活力と賑わい創出を支援

福祉の安心

をまもる



- ▷ 「こども医療費の無償化を高校卒業まで拡大」による子供の健康と安心を支援
- ▷ 「総合的な認知症対策」によるグループホーム設置や認知症サポーター増員を推進
- ▷ 高齢者・障害者・子供の対象を限定しない「福祉ワンストップ総合相談窓口」の設置

命の安全

をまもる



- ▷ 「子ども見守り隊の拡大」や「通学路への防犯カメラ設置」により地域における子供の安全対策を強化
- ▷ 「浸水被害ゼロ」を目指して上戸田川・さくら川の整備加速と雨水・下水道・調整池を整備
- ▷ 「防災基本条例制定」による地域防災力向上で首都直下地震や大規模水害から命と財産を保護

健康長寿

をまもる



- ▷ 「受動喫煙ゼロ」を目指した受動喫煙ガイドライン策定と歩きたばこ禁止区域罰則化
- ▷ 「戸田市版スマートウェルネスシティ構想」による健康長寿を核としたまちづくりの推進
- ▷ 「介護給付適正化事業」の導入により介護給付費や介護保険料の増大を抑制

人と街

をつなぐ



- ▷ 「戸田市版シルバーパス」の発行で高齢者・障害者のtocoバスを無料・定額化へ
- ▷ 「公園リニューアル計画」の策定により市内の公園を安全で魅力的な空間へ再整備
- ▷ 市長の直談判によるダイヤの提案で「埼京線の終電延長やホームドア設置」を推進

自然と文化

をつなぐ



- ▷ 軽自動車税の一部を財源として市民団体を支援する「環境市民活動応援基金」の創設
- ▷ 2020東京五輪の「事前キャンプ誘致とホストタウン登録」で国際交流とレガシーの創出
- ▷ 「動物殺処分ゼロ」を目指し、飼い主のいない犬猫の不妊手術費用助成制度を創設

地域と行政

をつなぐ



- ▷ 「町会と行政の役割分担」見直しによる地域との協働と支援のあり方の再構築
- ▷ 「委託事業の見直し」による無駄遣いゼロと税収確保対策強化による堅実な財政運営を推進
- ▷ 「地域担当職員制度」の導入により地域の課題を市民と一緒に解決する職員を育成